9/19議事録

今回の話し合いの最終決定事項

以下の工程で進める。

⓪(メカ、電気、ファームそれぞれの)要求仕様書(表現を定量的に直したもの)、in-out対比表を作成する

①メカの構想設計（見た目とサイズ感、機能の定量）

②電気、ファームの構想設計

③必要に応じて①に戻る

④メカの詳細設計（部品の選定、配置と寸法）

⑤電気、ファームの詳細設計

⑥必要に応じて④に戻る

前回の話し合いの最終決定事項

1. 要求仕様

　 入れ替わりの激しい会議室想定、会議が終わったらロボ起動

　 掃除に必要な時間からロボに必要な大きさと速さを算出

　 ロボは小型で、小型のデメリットをどう補うか

2. 機能仕様

　 ちりを取る and 消毒する

　　群行動は無しで進める

今回

高島：

前回： 要求仕様→

要求、機能、設計の棲み分けってなに？で話し合い

今回： 見た目→

サイズ感→

構想設計(部品選定と配置決定)→

(詳細設計(部品の図面を書く))

小松：

そもそも普通の開発では初めからメカ、電気、ソフトがクリアするゴールが決まっている

高島：

今回は

構想設計（見た目とサイズ感、機能の定量）

→詳細設計（部品の選定、配置と寸法）

の粒度が良い

河井：

全員が全分野に触れることが目的なので、各分野並列で進めるのではなく、

メカ、電気、ファームの構想設計→メカ、電気、ファームの詳細設計

で行こう

小松、高島：

（メカの）要求仕様を定量的に表現しよう

現状の要求仕様

入れ替わりの激しい会議室想定、（どれくらい）

会議が終わったらロボ起動（どうやって）

会議室の机を掃除する（どれくらいの机の面積か）（どうやって）

小松： インアウト対比表を作成しよう